



特定の遺伝子に、ある変化があるときいろいろな臓器のがんになりやすくなったり、遺伝したりすることがわかってきました。遺伝子の検査には一部保険適応もありますが、様々な条件があります。

当院では自費となりますが米国FDAで承認されている遺伝性腫瘍パネル検査で代表的な癌に関連する70個の遺伝子を一度に検査ができるようになりました。検査をすることでなりやすい癌の種類がわかったときに、定期的な検査や遺伝についてご相談ができます。

遺伝相談外来の目的は、「ご自身および血縁のあるご家族の健康を守る」ことです。

今後も医学の発達により、ますます病気の原因が解明されていくでしょう。その原因の中に「遺伝」が関与している場合、関連する遺伝子が明らかになれば、将来ご自身がかかる可能性のある病気や病気になり始める年齢がわかります。定期的にかつ重点的に人間ドックなどで検診を受けることで、早期発見ができます。

「うちの家系はがん家系かな」と、疑問や不安がありましたらご相談ください。臨床遺伝専門医が対応いたします。

がん診療センター 乳腺内分泌外科

臨床遺伝専門医 吉留 克英

対象となる主な疾患

遺伝性腫瘍の病名	原因となる遺伝子	主な腫瘍
遺伝性乳がん卵巣がん症候群	<i>BRCA1, BRCA2</i>	乳がん、卵巣がん、 膵臓がん、前立腺がんなど
リンチ症候群	<i>MLH1, MSH2, MSH6, PSM2, EPCAM</i>	大腸がん、子宮体がん、 胃がんなど
リ・フラウメニ症候群	<i>TP53</i>	骨軟部肉腫、脳腫瘍、 副腎皮質がん、乳がんなど
多発性内分泌性腫瘍症1型 (MEN1)	<i>MEN1</i>	副甲状腺腫瘍、脳下垂体腫瘍、 膵臓・消化管腫瘍など
多発性内分泌性腫瘍症2型 (MEN2)	<i>RET</i>	甲状腺髄様がん、褐色細胞腫、 副甲状腺機能亢進症など

- 毎週木曜日：13:00～16:00
- 完全予約制です（院内：遺伝相談外来枠です。当番医枠は不可。院外からは初診受付にご連絡ください。）
※自費診療となりますため、同日に他科の受診はできません。
- 初回：60分 10,000円（検査しない場合も必要です）
来院後に家族歴の問診票をできるだけ詳しく書いていただきます。
ホームページからもダウンロードできます。
結果説明・2回目以降：30分程度 5,000円/回
- BRCA遺伝子検査を行うとき 23万円(+税)
- 包括的な遺伝子パネルを行うとき 12万円(+税)
- 変異陽性の方のご家族で、その遺伝子のみの検査 5万円(+税)
- 結果説明日：2～3週間後に結果が出ます。
- 変異陽性と判明された場合、その後の検診費用は部位・検査種類により異なります。担当医とご相談ください。